

7月から大規模改修のために全面休館する南丹市園部町の園部公民館は6月9日、利用者への感謝を込めた「おやすみコンサート」を開く。活動拠点にしてきた園部吹奏楽団が、2021年4月から再開する同館再生への期待を込めて、軽快な音楽を響かせる。

園部公民館 大規模改修で来月から休館



園部公民館おやすみコンサートに向けて練習をする園部吹奏楽団のメンバーたち(南丹市八木町・旧吉富小)

1979年にできた園部公民館は園部町の文化発信の拠点になってきた。だが、耐震不足のため2016年度から、約500席ある劇場型の大ホールが使えなくなるなど、老朽化が進んでいた。7月から市が耐震補強工事を施し、空調設備や舞台装置などもリニューアルする。2年間で約13億円の予算を計上している。貸し館を休止し、入館している市社会福祉協議会園部事務所や市商工会園部支所などは市国際交流会館に移転する。

拠点楽団 感謝の合奏

9日コンサート「再生を待ち望む」



7月から休館する園部公民館(南丹市園部町)

コンサートを開く園部吹奏楽団は1975年に結成し、同市や京都市などの35人でつくる。開館当初から同公民館で練習や定期演奏会を行ってきた。コンサートではアニメ「となりのトトロ」の「さんぽ」や人気音楽グループ「いきものがかり」の「ありがとう」など6曲を演奏する予定。メンバーは拠点を移した八木町の旧吉富小で、熱のこもった練習をしている。

野々口三男団長(60)は「活動を続けてこられたのも公民館のおかげで、感謝を込めて演奏したい。大ホールの再生を待ち望んでいる」と話す。

コンサートは午後3時から、公民館の大研修室で行う。入場無料。(秋田久氏)